

## 新居浜市地域公共交通計画（案）に関する意見募集の結果について

令和6年3月15日  
経済部地域交通課

- 1 意見募集期間 令和6年1月10日（水）～2月9日（金）
- 2 意見提出人数 7人
- 3 意見提出件数 42件
- 4 意見の概要と意見に対する考え方

整理番号	提出された意見の概要	意見に対する考え方
1	P58 事業No.⑰の評価指標⑭路線バス運行に係る財政負担は、バスだけでなく市が負担する全てを評価すべきではないか。	バス以外のデマンドタクシーや渡海船、別子山地域バスも含めることとしました。また、バス事業者の経営収支も加えました。
2	第3章の公共交通インフラに、松山空港行きの乗合タクシーが記載されていないので、記載すべき	松山空港行きの乗合タクシーは利用者及び行先が限定された広域の交通サービスとして捉えており、基本的な方針でも示しておりますとおり、本計画に位置付けておりませんので、記載しておりません。
3	第8章の（3）目標・事業の「コンパクトなまちづくりを先導する公共交通網の機能分担の明確化」に、「磯浦、新工場前、工場前、惣開バス停を經由する路線の改善」を記載してほしい。 現在、今治新居浜線の上り1便、黒島線の上り区間便1便、黒島線下り1便、がこの区間を運行している。3便とも運行ルートや経由バス停が異なっていて、大変わかりづらい。 1路線にまとめて、利用しやすいダイヤにすることも記載してほしい。	本計画は、本市の公共交通に関する考え方と施策をまとめたマスタープランでございますので、いただきましたご意見につきましては、計画内の各施策におきまして、バス停間の利用状況を踏まえ、交通事業者等と連携して市全体として利便性が向上するようバス路線網の見直しに取り組んでまいりたいと考えております。
4	バス停をもっと増やして欲しい	
5	行き帰りの市役所バス停を市役所正面玄関に変更できないか。特に南向きは市役所から離れ過ぎている。	

6	第8章の（3）目標・事業の「4.交通関係者全員参加の協働による公共交通の維持・支援」に、「市内高校の新学期の定期券販売や路線バス通学への対応における、愛媛県教育委員会や各教育機関との協力」を記載してほしい。自転車通学以外は考慮していない高校がある。	県立高校の通学に関しましては、県内広域で検討すべき事項であると考えており、本計画は、本市の公共交通に関する考え方と施策をまとめたマスタープランでございますので、計画への記載は見送らせていただきます。なお、いただきました御意見につきましては、個別の課題として愛媛県にお伝えしますとともに、本計画の推進にあたり参考にさせていただきます。
7	自動車免許必須の求人の割合が非常に多く、路線バス通勤が難しいので、業界団体やハローワークと連携して改善してほしい。この計画にも記載してほしい。	本計画では、企業の求人条件につきまして、御意見のような連携をすることはできません。
8	第8章の(1)基本理念について、少し長いのではないか。20文字程度に短くしたらどうか。	基本的な方針を包括的に表現させていただく中で現在の表現とさせていただいております。
9	コミュニティバスの導入を積極的に検討しては如何でしょうか。乗客数によって燃費の良いミニバスやボックスカーを使って、市内を幾つかのルートで巡回し出来れば数便/日で、乗降フリーにすれば利用者が増えると予想されます。特に上部地区と中心地を結ぶ南北の視線軸が出来ると利便性が良くなります。近隣でもコミュニティバスを運行する自治体が増えていますが、「観音寺市のりあいバス」などは参考事例になると思います。「おでかけタクシー」はコミュニティバスでカバーできない地域を補完する機能になります。	路線・循環型のコミュニティバスの導入可能性につきましては、市民ニーズ調査結果からも同様の意見があるため、本計画の中にも事業として搭載し、検討してまいりたいと考えます。御紹介いただいた観音寺市のりあいバスにつきましても、検討する際に参考にさせていただきたいと存じます。
10	デマンドタクシー以外にも、バス路線が少ないまたはない地域での循環コースの検討を本気で取り組んで下さい。	
11	川西地区を循環するバスがあるといい。	
12	利用者のニーズに対応して、福祉車両による「福祉バス」や地域が中心となった ボランティア型の「お手伝い配車」（仮称）などの検討もお願いします。	御要望につきましては、本計画の各施策の中におきまして検討を進めてまいりたいと存じます。

13	路線バスや別子山地域バスの運転手の接客講習会を年に1回実施してほしい。時々、運転手の(案内)接客がややぶっきらぼうな時がある。ある程度は仕方ないのかもしれないが、運転手の接客態度が良くないとバス利用者も乗りづらくなってしまいます。	本市で運行されている路線バス及び別子山地域バスは民間事業者の運転手により運行しておりますが、運行に関する御意見をいただく度に、交通事業者にはお伝えしておりますが、よりよいバス環境となりますよう交通事業者と協議してまいりたいと考えております。
14	第3章(2)JR予讃線について、「JRは四国全域、及び本州への長距離移動手段の1つとなっている」とあるが、九州(福岡、長崎、熊本、鹿児島など)へも利用されているので、九州を加えてほしい。	「四国全域、本州及び九州」と表現を改めます。
15	第4章(1)概要について、「一本あたり乗車が21人、下車が21人といった状況である。」とあるが、乗車と下車で利用者数が異なる可能性があるため、この記述は適切でないし、いらぬではないか。	「一本あたり乗車が21人、下車が21人といった状況である。」の部分削除します。
16	(デマンドタクシー)川西からせめて川東の労災病院までは行けるように改善してください。	御要望につきましては、本計画の各施策の中におきまして、協議を重ねてまいりたいと存じます。
17	(デマンドタクシー)より利用者の意見が聞けるように、希望者との懇談会を開いて下さい。	交通事業者だけでなく、利用者や福祉関係団体の方などの御意見を幅広くいただく場の創出につきましても、本計画を推進する中で取り組んでまいりたいと考えております。
18	現在の毎年予算の一部を、バス、タクシー、デマンドタクシーなどの割引チケットとして予算化してください。	本市では、現在地域生活を支える路線バスを維持・確保するため、バス事業者に対して運行費の補助や、デマンドタクシーは市の委託料で運行しております。限りある財源の中で、路線の維持や利便性の向上といった取組を優先的に行っており、料金の割引につきましては、本計画の取組の中で慎重に検討したいと考えております。
19	全国では、無人運転車での交通弱者救済策が、具体化または検討されています。新居浜市でも長期的な視点で、計画的に進めて下さい。	愛媛県内におきましても自動運転バスの実証実験が行われ始めましたが、国、愛媛県をはじめ、全国の動向に注視しながら、本計画を推進する中で取り組んでまいりたいと考えております。

20	現在進めている、バスが来るのを知らせるシステムは、高齢者が使うのは、難しい。	スマートフォンなどでバスの運行状況がわかるバスロケーションシステムの導入が進められておりますが、市としても誰もが使いやすいシステムとなるよう交通事業者へもお伝えし、取組を進めたいと考えております。
21	バスを乗り継ぎする時に割り引きがあると嬉しい。他県でチケットをもらってそれを見せると割り引きになるところがあった。	御意見につきましては、本計画の施策の中におきまして、割引チケットも含め広く検討したいと考えております。
22	平尾墓地に年4回、合同墓？が空く日に臨時バスを出して欲しい。	交通事業者及び墓地管理担当課へお伝えいたしました。臨時バスの運行は困難であるとのことでした。
23	馴染めるバスに。ジブリ漫画の「猫バス」とまで言いませんが、幼い子供が乗りたくなるバスを想像してみてください。 路線ごとに取り替え可能な、大きい絵のかかったバス。パネルが「  」なら ※※※親子の会話を想像※※※ 「パンダのバスが来たら、乗ろうね！」 ※※※ 教えやすいし、おぼえやすいし、行き先を読めない目の弱者め助かります。	わかりやすいバスの行先案内については、本計画の各施策の取組におきまして、検討してまいりたいと考えております。
24	市民からバス路線の愛称を募集してはどうか。	
25	知的障がい者や子供が行先・経由地が一目で分かるような印やシンボルマークみたいなものをつけてほしい。	
26	路線バス割引制度について今は「免許返納者だけ」を対象としていますが、ここをもっと幅広くする案を提案します。 65歳以上にして欲しいです。	路線バス割引制度につきましては、愛媛県警察の運転免許自主返納支援事業所募集に応じた交通事業者が割引サービスを行っているものですが、御意見につきましては、交通事業者にお伝えするとともに、本計画の取組の中で検討する際に、提案として受け検討いたします。
27	無料の日は1年に一度でも良いし、数回でも良いです。 まず、バスを利用してみないと意見もでてこないと思います。 是非 試して下さい。 きっと良さがわかります。	御意見につきましては、本計画の施策の中で検討を進めてまいりたいと考えております。

28	J Rも利用したバス利用を考える必要がある。時間設定等・市民に分かるマニュアル作成	公共交通利用促進の御意見として、本計画の各施策の取組の中で、交通事業者とも検討してまいりたいと考えております。
29	バスを利用したイベントを開催して利用客を増やす。	
30	市内小中学生が書いた絵をバスの中で展示してはどうか（保護者関係者の利用が見込まれる）	
31	公共交通機関の広報誌を発行しバス利用の促進を図るべき（宣伝広告等を発行費に充てる）	
32	今後人口減少が見込まれるなか、目標1の渡海船と別子山地域バスの利用者の目標値が増加しているのは見直しが必要なのではないか	目標値の設定の考え方として、まずは、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の数値を目標としております。
33	目標3の観光客数が令和10年度には令和4年度の人数より110万人増になっているが、今の公共交通機関では対応できないのではないか。	
34	快適なバス待ち環境の整備でベンチ設置の目標値が令和4年度以上とあるが、増やす目標というより、現状維持の目標になっている感じなのでどれくらい増やすかを詳細に目標数値化してほしい	ベンチの設置については、交通事業者が主体となって取り組むべきと考えておりますが、費用面のほか物理的な条件もございまして、現状以上を目標値として設定しております。
35	サイクル&バスライドが令和10年度までに1か所設置の計画だということはわかるが、バス停付近の既存コンビニと提携し予算を掛けずに増やすことはできないか検討してほしい。	市内におきましてコンビニエンスストアの新規出店、撤退と様々ございますが、バス路線やバス停留所の見直し等も含め、計画の取組の中で検討してまいりたいと考えております。
36	利用料金が低い。市内各所を1日移動するだけで1000円以上必要になるため、毎日利用できるものではない。一律200円や定期券5000円等のサブスクを取り入れてほしい。	路線バスを対象としたサブスクリプション型運賃制度につきましては、採算性における導入可能性の検討が必要と考えますが、キャッシュレス決済などと併せて、本計画の取組の中で、交通事業者と協議してまいります。

37	出勤や通学で利用できるような時間運行をしてほしい。例えば朝6:30~19:00まで運行する等	現在におきましても通勤時間帯の路線バス運行を行っておりますが、運転士の勤務間インターバルを確保しながら、利便性の高い路線の維持に努めていくよう本計画の取組の中で、交通事業者と協議してまいります。
38	県病院前バス停を行き帰り一緒のバス停にしてほしい（県病院玄関口）	2023年4月より県立新居浜病院の正面玄関前に「新居浜県病院」停留所が新設され、中萩線の全ての便が乗り入れをしております。
39	役所で公共交通機関利用日を毎週作り、利用者数を増やせないか	市職員対象にエコ通勤デーを設け、公共交通機関の利用を呼び掛けております。
40	バス利用のブランド戦略が必要ではないか。 例：休日バスで新居浜を感じよう（公園や観光施設のルートを作成）バスで行く新居浜食べ飲み歩き（飲食店とタイアップ）	買い物やレジャーなどの外出機会を創出することで、公共交通機関の利用促進を図ることは重要な課題であると考えますので、観光部門や交通事業者とも本計画の取組の中で、協議・検討してまいります。
41	上部3か所・川西3か所・川東3か所のバスのハブ拠点を設置し（既存施設で可）そこへデマンドタクシーで乗客を輸送してはどうか。	本計画の基本理念に示してあるとおり、誰もが使いやすく・親しみやすい公共交通網の再編を目指すために各方針や事業を設定しており、ご提案の内容につきましても、想定している部分ですので、本計画の取組の中で検討を進めたいと考えております。
42	バス停の時刻表に行き帰り両方の時刻を表記してほしい	当該バス停留所に停車する路線バスの行先を誤認するおそれもございますため、交通事業者とより分かりやすいバス情報の提供につきまして、検討してまいりたいと考えております。